

平成23年度事業計画

自平成23年4月1日

至平成24年3月31日

事業計画概要

当財団は、本年度、引き続き運営の合理化に努めながら、環太平洋学術研究奨励事業、北京日本学術研究センターとの協賛事業、『大平正芳全著作集』発刊事業、大平正芳記念財団パンフレット・レポート発行事業、及び大平正芳記念館運営事業を着実に遂行するとともに、公益法人制度改革に伴い、一般財団法人への移行を図るべく、的確に手続きを進める。

1 環太平洋学術研究奨励事業

- | | | |
|-----------------|----------|-----------|
| [1] 第27回大平正芳記念賞 | 4件と特別賞2件 | クリスタル牌、賞金 |
| | | 500万円 |
| [2] 第25回学術研究助成費 | 1件 | 助成費 100万円 |

2 北京日本学術研究センターとの協賛事業

「大平コーナー」運営推進事業の一環として

- (1) 第七回「日本語優秀学位論文大会」の開催
- (2) 日本学術名著の翻訳・発行(教材)事業計画(5年度目)の実施
本年度は10月に、下記2冊を各2千部発行予定。
 - ①源了圓(みなもとりょうえん)著『徳川合理思想の系譜』
 - ②玉懸博之(たまかけひろゆき)著『日本の歴史思想と政治思想』

3 『大平正芳全著作集』発刊事業

大平正芳生誕百年記念事業の一環として、
平成23年5月に第4巻を、
平成23年9月に第5巻を、

平成24年1月に第6巻を発刊予定。

なお、当著作集の一層広範な普及を図るため、時期を見て、全国の大学(社会科学系の学部をもつ)の図書館に300部程度の寄贈を行う予定。

4 「大平正芳記念財団の事業」パンフレット及び「大平正芳記念財団レポート」発行事業

(1) 「大平正芳記念財団の事業」パンフレット関係

① 「大平正芳記念財団の事業」パンフレット

② 「大平正芳記念財団の事業活動」(平成22年6月から同23年5月まで)リーフレット

(2) 「大平正芳記念財団レポート」第29号

5 大平正芳記念館運営事業

(1) 記念館所蔵の資料について、経年による劣化の防止を図る観点から、国立国会図書館憲政資料室への移管を実施するとともに、文部科学省所管の科学研究補助金の資金援助を得て、順次DVD化を図り、現物展示から映像資料提供への移行を実施する予定。

(2) 記念館運営事業の一層の促進を図る観点から、香川大学(旧高松高商)同窓会の又信会(ゆうしんかい)、観音寺一高OB会等の協力を得て、現地において、大平正芳に因むシンポジウム開催の検討を行う。

6 公益法人制度改革に伴う移行の問題

当財団では、すでに1月27日開催の理事会・評議員会(臨時)において、一般財団法人への移行について承認を得ているが、6月開催の定例理事会・評議員会において、これを白紙に戻す提案の承認を得て、公益財団法人への移行の可能性について、あらためて検討を行う予定。